

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	商工観光課(観光振興担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	観光客受入環境整備事業	事業番号	12815

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9	自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち	

2 事務事業の目的

目的	近年、外国人観光客等を含む観光客が増加しており、市内観光地の受入環境の整備を進めることにより、今後のリピーター確保に繋がり、また、宿泊施設、飲食店等の外国語表記や老朽化したトイレの整備を進めることにより、観光消費の拡大や地域活性化を目指す。
成果	外国語表記やインパウンド受入環境整備及び観光地の受入環境整備による交流人口の増加や観光による経済波及効果の拡大。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2	納沙布岬トイレ改修設計委託、納沙布岬トイレ改修工事 外国語表記の看板・案内板の作成に係る補助 飲食店などの多言語メニュー作成に係る補助						
	R3	納沙布岬トイレ改修工事						
	R4							
事業費と内訳	(単位:千円)	H30	R1	R2	R3	R4	総事業費	
	事業費			33,375	24,847		58,222	
	内訳	国庫支出金						0
		道支出金			14,600	0		14,600
		地方債						0
		その他			18,775			18,775
		一般財源			0	24,847	0	24,847
	人員(人工)			0.17	0.09		0.26	
	職員費(人員×7,673千円)			1,304	691	0	1,995	
総事業費			34,679	25,538	0	60,217		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	多言語メニュー導入店舗数	0件	10件	20件
	納沙布岬トイレ改修進捗率	0%	50%	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	インバウンドの受入環境や観光地の受入環境を整備することで、観光客の誘致、リピーター確保に繋がり、交流人口が拡大され観光消費による地域経済の活性化に期待できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 宿泊、飲食、土産等、多言語メニューなど、インバウンドなどの観光客の受入環境整備は消費拡大に繋がるのでニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市の観光客受入体制を充実させることにより地域経済の活性化が期待できることから市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない インバウンド等の観光客が増加傾向にあり、今後のリピーターを確保するためには対応は急務である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある インバウンドも含め、観光客が利用する施設であるため妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 観光客が利用する施設となることから公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 観光地やインバウンドの受入環境を整備することで、長期的に観光客の誘致に繋げることができることから、有効と考えられる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業を実施し、インバウンドの受入環境の充実を図るとともに、長期的な観光客誘致に務められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する インバウンドの受入環境を整備することにより、観光消費の拡大や地域活性化を目指すとともに、観光地としての魅力向上を図る。

作成年月

令和2年6月

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	商工観光課(観光振興担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	白鳥台センター整備事業	事業番号	12103

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9	自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち	

2 事務事業の目的

目的	根室市の観光の玄関口である白鳥台センターは、地場産品を用いた食事の提供・特産品の販売など、市民・観光客から安定した人気を維持しているところであるが、オープンから20年以上が経過しており、老朽化により施設の利用に一部不安を招いて状況にある。今後も利用者にとって安全・安心して利用していただくため、施設の改修を定期的に行う必要がある。
成果	受入環境整備により、利用者の安全が確保され、安心して施設の利用をすることができ、交流人口の増加や観光による経済波及効果の拡大につながる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input checked="" type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2							自動ドア改修工事
	R3							
	R4							
事業費と内訳	(単位:千円)		H30	R1	R2	R3	R4	総事業費
	事業費				1,180			1,180
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他			1,100			1,100
		一般財源			80			80
	人員(人工)				0.09			0.09
	職員費(人員×7,673千円)				691			691
総事業費				1,871			1,871	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	自動ドア改修	0カ所	1カ所	-

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	安全・安心に利用していただくことでリピーターの確保に繋がり、交流人口の拡大、観光消費による地域経済の活性化に期待できる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 自動ドアの故障により利用者の不便となることからニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市の所管施設であり、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 故障した場合の部品が廃盤となっており、メーカーの保管部品にも保管期限があるため、早期に実施すべきと考える。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 多くの観光客が利用する施設であるため施設の整備は、現状としては妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 施設を整備することで利用者の安全性が確保されることから現状では概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 受入環境を整備することで、安全・安心に利用していただき、長期的にリピーター確保に繋げることができれば、有効性はあると考えられる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進し、利用者が安心して施設を利用できるよう適正な施設の維持管理に努め、リピーターの増加など交流人口の増加につながるよう事業を推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 市民や観光客などの利用者ニーズの把握に努め、交流人口の拡大、観光消費による地域経済の活性化を推進する。

作成年月

令和2年6月

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	商工観光課(観光振興担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	観光情報発信推進事業	事業番号	12814

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9	自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食など多彩な魅力を活かした観光のまち	

2 事務事業の目的

目的	現在、根室市の持つ観光素材をPRする媒体が10年以上前に作成した映像のみであり、現状の根室市の観光素材を十分にPRできるものとなっておらず、多言語対応にもなっていない。国内外からの新たな観光客の誘致を図り、交流人口を拡大させるために、総合的な多言語対応のプロモーション動画を作成し、国内外へ情報発信する必要がある。
成果	国内外へ積極的に観光情報を発信し、観光客誘致を図ることにより地域経済の活性化に繋がる。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input checked="" type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2	根室市観光プロモーション動画の作成						
	R3							
	R4							
事業費と内訳	(単位:千円)	H30	R1	R2	R3	R4	総事業費	
	事業費			11,300			11,300	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			5,000			5,000
		地方債						
		その他			6,300			6,300
		一般財源						
	人員(人工)			0.17			0.17	
職員費(人員×7,673千円)			1,304			1,304		
総事業費			12,604			12,604		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	根室市観光プロモーション動画の作成数	0本	1本	-

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	新たな観光プロモーション動画による情報発信を行い、国内観光客及びインバウンドの誘致、交流人口の拡大、観光消費による地域経済の活性化に期待できる。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 新たな観光客の誘致により、宿泊、飲食、土産等、消費拡大に繋がるのでかなりのニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 根室市の経済に直結するので、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない さんまや秋サケなど水産物不漁の影響等により、市中経済への影響が大きく、早期に実施すべきと考える。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 多言語による国内外への情報発信となり、根室市の魅力を広くPR出来るため妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 事業実施することで観光客が増加するなど市中経済の活発化が見込めることから、公平である。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 観光客の誘致により域外からの収入を拡大し、市内経済が活発化することから、有効性はあると考えられる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業の推進を図り、根室市の魅力を国内外の観光客へ情報発信し交流人口の拡大に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 当市の歴史、自然、文化などの魅力を観光プロモーション動画を通じて発信し、さらなる観光客誘致につなげる。

作成年月

令和2年6月

事務事業評価(事前評価)シート【令和2年度】

主管課(担当名)	商工観光課(商工労政担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	首都圏PR出展事業	事業番号	12813

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-9	自然・歴史・食観光の振興
	施策目標	自然・歴史・食などを多彩な魅力を活かした観光のまち	

2 事務事業の目的

目的	根室の新鮮で良質な水産物の普及宣伝・販路拡大などを行う団体である「ねむろ水産物普及推進協議会」と連携し、首都圏において不特定多数の消費者に対し、根室の自然・観光・歴史の魅力を紹介するアトラクションの実施及び地場産品の対面販売等を行うことで、根室市の知名度向上による交流人口の増大や、地場産品の消費拡大を図るとともに、根室地域の経済の活性化に寄与することを目的とする。
成果	事業実施により、首都圏の不特定多数の消費者に対し、地域の歴史・自然観光資源や地場産品の良さなど、根室市の魅力をPRすることができ、根室地域の経済の活性化に寄与することが期待される。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	H30							
	R1							
	R2	首都圏PR出展事業の実施						
	R3	首都圏PR出展事業の実施						
	R4	首都圏PR出展事業の実施						
事業費と内訳	(単位:千円)	H30	R1	R2	R3	R4	総事業費	
	事業費			5,053	5,053	5,053	15,159	
	内訳	国庫支出金						
		道支出金			2,500	2,500	2,500	7,500
		地方債						
		その他			2,553	2,553	2,553	7,659
	一般財源							
	人員(人工)			0.17	0.17	0.17	0.50	
職員費(人員×7,673千円)			1,279	1,279	1,279	3,837		
総事業費			6,332	6,332	6,332	18,996		
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (R1)	目標値 (R2)	目標値 (R7)
	首都圏PR出展事業の開催回数(累計)	0回	1回	6回
	首都圏PR出展事業の出展事業所数	0事業所	15事業所	20事業所

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	不特定多数の消費者が集まる首都圏において、根室市の自然・観光・歴史の魅力PRするアトラクションの開催や地場産品の対面販売を実施することにより、交流人口の増加や地場産品の認知度向上が図られ、高いPR効果とこれらを通じた地域経済の活性化が期待できる。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 事業実施により、交流人口の増大や地場産品の認知度向上による消費拡大が期待され、地域経済の活性化に寄与することから、参加事業所を含め、市民ニーズは高い。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 首都圏の消費者に対し根室市のネームブランドを浸透させるためには、関係団体と連携しながら市が主体となって根室市の魅力をPRすべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 交流人口の減少や魚価安などにより地域経済が縮小傾向にあり、人口の集中する首都圏での積極的なPRが求められている。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 関係団体(ねむろ水産物普及推進協議会、東京根室会など)との連携を密にして実施するため、現状として妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 報道媒体(ホームページ、インターネット記事など)を用い、広く周知を図る。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 首都圏の多くの消費者に根室市の魅力をPRすることにより、地場産品の消費拡大や交流人口の増大による地域経済の活性化も期待できることから有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 計画どおり事業を推進し、関係団体との連携を図り、効果的なPR活動による地域経済の活性化に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 関係する団体と連携してPRを実施することにより、根室の魅力を発信し、地場産品の消費拡大を目指すとともに、交流人口の増加を図る。

作成年月 令和2年6月